



# 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キューブシステム  
 コード番号 2335 URL <http://www.cubesystem.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 副社長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月3日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 崎山 収  
 (氏名) 内田 敏雄

TEL 03-5487-6030

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	9,345	2.2	473	△20.5	489	△23.2	324	△8.6
28年3月期第3四半期	9,147	0.6	596	△16.5	636	△12.7	354	△20.2

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 443百万円 (26.7%) 28年3月期第3四半期 350百万円 (△23.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	22.99	—
28年3月期第3四半期	24.39	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	7,036	4,557	64.4	324.50
28年3月期	7,324	4,718	64.1	322.76

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 4,534百万円 28年3月期 4,696百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	10.9	920	△3.1	940	△2.1	530	△15.7	36.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	15,279,840 株	28年3月期	15,279,840 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,305,958 株	28年3月期	728,138 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	14,120,070 株	28年3月期3Q	14,551,708 株

(注)期末発行済株式数には、「役員報酬BIP信託口」が保有する当社株式(29年3月期3Q 270,000株)が含まれております。また、「役員報酬BIP信託口」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(29年3月期3Q 270,000株)。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算説明資料については、TDnet及び当社ウェブサイトのIR情報(<http://www.cubesystem.co.jp/jp/ir/index.html>)で同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(2) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用・所得環境の改善などから緩やかな回復基調が見られるものの、中国をはじめとする新興国経済の減速懸念や英国のEU離脱問題、米国大統領選挙後の金融資本市場の大幅な変動など、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、ビッグデータやIoT、人工知能等の分野に大きな注目が集まるほか、クラウドサービスや情報セキュリティ対策の需要拡大などにより、引き続き市場の拡大が続くと見込まれます。また、ソフトウェア開発においても非製造業の企業を中心にソフトウェア投資の見通しは増加傾向であるものの、システム高度化・複雑化への対応等が人件費・外注費の高騰や開発要員の不足に繋がっており、収益環境は楽観視し難い状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループにおきましては、官公庁向け開発案件および通信業における電力小売自由化案件、流通業におけるコンビニエンスストア向け案件の受注拡大に努めた結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は9,345百万円（前年同期比2.2%増）と堅調に推移いたしました。また、退職給付債務の割引率引き下げにより人件費が増加した結果、営業利益は473百万円（同20.5%減）、経常利益は489百万円（同23.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は324百万円（同8.6%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,018百万円となり、前連結会計年度末に比べ202百万円減少いたしました。これは主に、売上債権の減少460百万円および現金及び預金の増加322百万円、仕掛品の増加51百万円によるものです。また、固定資産合計は2,017百万円となり、前連結会計年度末と比較して85百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券の減少39百万円によるものです。

これらの結果、総資産は7,036百万円となり、前連結会計年度末に比べ287百万円減少いたしました。

#### ②負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,608百万円となり、前連結会計年度末に比べ182百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等の減少196百万円によるものです。固定負債は871百万円となり、前連結会計年度末に比べ55百万円増加いたしました。これは主に、株式報酬引当金の増加34百万円および退職給付に係る負債の増加24百万円によるものです。

これらの結果、負債合計は2,479百万円となり、前連結会計年度末に比べ126百万円減少いたしました。

#### ③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は4,557百万円となり、前連結会計年度末に比べ161百万円減少いたしました。これは主に、自己株式の増加397百万円による減少および利益剰余金の増加117百万円、退職給付に係る調整累計額の増加101百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は64.4%（前連結会計年度末は64.1%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の情報サービス業界全体の見通しについては、市場の成長とともに厳しい価格競争が続き、楽観視し難い環境が持続していくことが予想されます。このような状況の中で、当社グループの第3四半期連結累計期間における業績は、概ね計画通り推移いたしました。今後は、官公庁向け開発案件および流通業におけるスーパー向け開発案件の規模拡大、品質・生産性の向上による収益性の改善をはかることで、売上高・利益の確保に努めてまいります。したがって、連結業績予想につきましては、前回発表（平成28年10月27日）の通期連結業績予想に変更はありません。

なお、上記の予想は、当社が発表日現在で入手可能な情報に基づいて判断したものであります。予想に内在するさまざまな不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の業績と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間より適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

### (2) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,436,689	2,759,615
売掛金	2,277,795	1,817,667
仕掛品	224,322	275,541
その他	283,475	166,651
貸倒引当金	△589	△576
流動資産合計	5,221,694	5,018,898
固定資産		
有形固定資産	406,938	343,217
無形固定資産	3,372	3,357
投資その他の資産		
投資有価証券	1,083,190	1,043,432
その他	609,584	627,885
投資その他の資産合計	1,692,775	1,671,318
固定資産合計	2,103,085	2,017,893
資産合計	7,324,780	7,036,791
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	600,257	564,731
短期借入金	240,000	240,000
未払法人税等	251,337	54,887
賞与引当金	242,379	242,699
役員賞与引当金	51,144	28,822
受注損失引当金	2,147	866
その他	403,609	476,163
流動負債合計	1,790,876	1,608,170
固定負債		
役員退職慰労引当金	17,605	18,760
株式報酬引当金	42,930	77,310
退職給付に係る負債	396,884	421,311
資産除去債務	130,930	131,451
その他	226,796	222,246
固定負債合計	815,147	871,078
負債合計	2,606,023	2,479,249
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	768,978	768,978
資本剰余金	750,832	750,832
利益剰余金	3,781,273	3,898,349
自己株式	△418,872	△816,052
株主資本合計	4,882,211	4,602,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,623	83,787
為替換算調整勘定	562	△170
退職給付に係る調整累計額	△252,760	△151,150
その他の包括利益累計額合計	△185,573	△67,534
非支配株主持分	22,118	22,969
純資産合計	4,718,757	4,557,542
負債純資産合計	7,324,780	7,036,791

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	9,147,802	9,345,964
売上原価	7,642,101	7,943,905
売上総利益	1,505,701	1,402,059
販売費及び一般管理費	909,388	928,213
営業利益	596,313	473,846
営業外収益		
受取利息	9,323	7,396
受取配当金	9,622	6,703
投資有価証券売却益	22,735	-
投資有価証券評価損戻入益	-	12,564
その他	7,707	5,497
営業外収益合計	49,389	32,162
営業外費用		
支払利息	1,750	1,563
支払手数料	3,315	3,315
会員権評価損	-	4,666
自己株式取得費用	1,024	4,058
その他	2,801	3,345
営業外費用合計	8,891	16,949
経常利益	636,811	489,058
税金等調整前四半期純利益	636,811	489,058
法人税等	281,392	163,612
四半期純利益	355,419	325,446
非支配株主に帰属する四半期純利益	484	866
親会社株主に帰属する四半期純利益	354,934	324,579

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	355,419	325,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,334	17,163
為替換算調整勘定	△1,309	△791
退職給付に係る調整額	△8,127	102,101
その他の包括利益合計	△5,103	118,473
四半期包括利益	350,315	443,919
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	349,984	442,619
非支配株主に係る四半期包括利益	330	1,300

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年5月31日開催の取締役会決議に基づき、自己株式577,800株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が397百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が816百万円となっております。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、平成28年7月7日をもって終了しております。